

学習内容報告書 フォーマット

学校名	備前市立日生西小学校
授業者	中島知妃呂

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海ごみ探偵団

1-2. 学年

第5学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

本単元では、環境問題について取り上げる。児童の住む地域には海があるため、海ごみの問題がある。そこで、海ごみについて学習していく中で、単に海ごみについて理解するだけでなく、海ごみ問題を解決するために、どのような取組を、どのような思いをもってしているのかまでかんがえさせるようにしたい。そして、自分たちが日生の海を守るためにどのようなことができるか考え、実行できるようにしたい。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

近年問題になっている海ごみについて理解するとともに、海が身近にあり、漁が盛んな日生の海の現状を知り、自分たちの手で日生の海を守りたいという思いをもつことができるようにしたい。



1-6. 育みたい資質や能力、態度

生活や学習に生かす能力

1-7. 単元の展開（全23時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>海ごみ導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海といえば？ ・きれいな海ってどんな海？ ・自分たちの住む地域で見たことのある海ごみを付箋に書き、地図に貼る。 ・教師が拾ってきた海ごみを見て、海ごみへの興味をもつ。 	<p>○児童の身近な海について取り上げることで、海に対して普段思っていることを発表しやすくする。</p> <p>【教材】 日生の海の写真 海に落ちていたごみ</p> <p>〈準備物〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区の地図・付箋
2 ～ 4	<p>海ごみについての疑問を解決する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海ごみとは ・どんなものが落ちているのか ・量は？ ・被害は？ <p>4つの中から、気になる1つを選び調べる。</p>	<p>○児童から海ごみについての疑問を集めることで、自分の興味関心のある事柄について調べられるようにする。</p> <p>〈準備物〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット・本・ワークシート
5	<p>同じ内容で調べた人同士で集まり、調べた情報について話し合う。</p> <p>異なる内容について調べた4人で集まり、情報を共有する。</p>	<p>○同じ内容を調べた人同士で情報を共有することで、内容を深められるようにする。</p> <p>○異なる内容について調べた人たちと集まることで、情報量を増やすことができるようにする。</p>
6 ～ 7	<p>前時でプラスチックごみが多いことが分かり、プラスチックごみを集めて楽器づくりをした。</p> <p>→音楽の授業で使用</p>	<p>○海ごみにはプラスチック製品が多いことから、プラスチック製品の利用の仕方を考え、実行する。</p> <p>〈準備物〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックの入れ物など
8 ～ 12	<p>学習発表会で海ごみについて発表するために、集めた情報をまとめ、発表の練習をする。</p>	<p>○発表準備をする際には、必要に応じて写真も入れるように指導し、聞き手が分かりやすい発表を意識することができるようにする。</p> <p>〈準備物〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット・プロジェクター
13	<p>学習発表会</p> <p>保護者、地域の方に海ごみについて知ってもらう</p>	<p>○地域の方や保護者に向けて発表することで、海ごみについて知らない人にも知ってもらうようにする。</p> <p>〈準備物〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット・プロジェクター ・発表で使用する小道具

1-8. 単元の展開（全23時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
14	<p>日生の海はどうなっているのだろうか？ 観光協会の方から海ごみについての話を聞く。</p>	<p>○これまでの学習では、世界や日本全体の海ごみについて調べたことから、自分たちの身の回りの海の様子について目を向けるようにする。 【外部連携】観光協会 船橋さん 大森さん 市役所の方</p>
15 ～ 18	<p>頭島現地調査、ごみ拾い ・マイクロプラスチック採集 ・ごみ拾い</p> <p>海ごみマップ作成 頭島での調査結果をまとめる（どこにどんなごみが落ちていたか）</p>	<p>○実際に頭島に行くことで、日生の海の現状を知り、「日生の海を守りたい」という思いをもてるようにする。 【外部連携】観光協会 船橋さん 大森さん 市役所の方 〈準備物〉 ・海ごみ・頭島の海岸の絵</p>
19	<p>どんな海にしたい？ これまで海ごみについて調べてきて、自分たちはどうしたいのか。 →もっと多くの人に海ごみを知ってもらいたい。</p>	<p>○海ごみについて調べてきて、どういう思いをもつようになったのか確かめるようにする。</p>
20 ～ 22	<p>国や企業の取組を調べ、発表する。</p>	<p>○キットカットの紙包装化を紹介し、「どの企業が、どんな取組を、どんな思いで」しているかを確認し、様々な企業の取組を、同じように調べるようにする。 ○どこの企業も、海ごみを減らしたい、海を守りたい、環境を守りたいという思いをもっていることに気づけるようにする。</p>
23	<p>日生の海を守るために自分たちには何ができるか考える。</p>	<p>これまでの海ごみの学習を通して、自分たちに何ができるかを考え、話し合う。その際、「何のために」、「どんな思いで」その取組をしたいのか説明ができるようにする。</p>
		

2- 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-4. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-5. 本時の目標

海ごみに触れることで、日生の海に対する問題意識をもつことができる。

2-6. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 「海といえば」でイメージマップを全員でつくる。 ／これまでの生活経験からたくさん意見が出てきた。	・出てきた意見を似た意見と結びつけることで、海に対するイメージを分類することができるようにする。
2 「きれいな海」とはどんな海か考える。 ／ごみがない海、透明な海	
めあて 自分たちの住む町の海の様子はどうなっているのだろう。	
3 自分たちの住む町には、どんなごみが落ちているのか付箋に書いて地図に貼る。 ／ごみが多い、ペットボトルが多い。	・ごみがたくさんあることに気付かせるために地図に付箋を貼り、視覚化する。 ・日生に実際に落ちている海ごみを見せることで問題意識をもたせる。
4 実物の海ごみを見る。	
5 海の写真から海ごみを見つける。 ／日生にはもっとたくさんの海ごみがある。○○の場所にたくさんある。	
まとめ 日生の海には、ペットボトルやビニール袋などのごみが落ちている。	

3- 今回の活動の自己評価

児童の身近にある海を取り上げたことで、海に対するイメージや思い、日生の海の現状を子ども達から多く聞くことができた。実物を見せることで海ごみに対する興味を引きつけることができたことから、実物を見たり、体験したりする活動の大切さを感じた。

社会科の水産業の学習や渋川海事研修での学習など、5年生では海に関する学習が多いため、その都度、海ごみに触れることができた。

4- 今後の課題

○実際に漁師の方などの海で働く人たちにインタビューすることで、海に関係する人々がどのような思いをもっているのか知ることができたのではないかと感じた。

○子ども達が今後、どのように自分たちの住む地域の環境と関わっていきたいか、思いを保てる授業づくりをしたい。

5- 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

今回は主に海についての学習であったため、海に関する気づきが多かった。海だけでなく里海・里山と関連付けて山や町との結びつきも大切にすると、海ごみの問題をより身近に感じることができると考えている。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。